【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成25年8月29日(2013.8.29)

【公表番号】特表2013-500132(P2013-500132A)
【公表日】平成25年1月7日(2013.1.7)
【年通号数】公開・登録公報2013-001
【出願番号】特願2012-522901(P2012-522901)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　9/008　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ　9/00　５１１

【手続補正書】
【提出日】平成25年7月9日(2013.7.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
手術用のレーザシステムであって、
レーザビームを生成するレーザエンジンと、
前記レーザエンジンから前記レーザビームを受け取るマルチ機能ビーム調整器と、
前記レーザビームをＸＹ横断方向に走査するＸＹスキャナと
を備え、
前記マルチ機能ビーム調整器が、第１のビームコントローラ及び第２のビームコントローラを含み、前記第１のビームコントローラ及び第２のビームコントローラが、第１及び第２のビーム特徴を制御し、
前記第１のビームコントローラは、前記ＸＹスキャナの前段に配設され、制御された第１の特徴を有するビームを出射し、
前記第２のビームコントローラは、前記ＸＹスキャナの後段に配設され、制御された第１及び第２の特徴を有するビームを出射する、手術用のレーザシステム。
【請求項２】
前記第１のビームコントローラ及び前記第２のビームコントローラは、１つ以上の光学素子を共有する、請求項１記載のレーザシステム。
【請求項３】
前記第１のビームコントローラは、前記ＸＹスキャナの前段に配設された第１のコントローラブロック及び第２のコントローラブロックを備えるマルチブロックコントローラである、請求項１記載のレーザシステム。
【請求項４】
前記第１のコントローラブロック及び前記第２のコントローラブロックは、光学素子を共有する、請求項３記載のレーザシステム。
【請求項５】
前記第２のビームコントローラは、前記ＸＹスキャナの後段に配設された第３のコントローラブロック及び第４のコントローラブロックを備えるマルチブロックコントローラである、請求項１記載のレーザシステム。
【請求項６】
前記第３のコントローラブロック及び前記第４のコントローラブロックは、光学素子を

共有する、請求項５記載のレーザシステム。
【請求項７】
前記第１のマルチブロックコントローラは、開口数コントローラであり、前記第２のマルチブロックコントローラは、Ｚスキャナである、請求項５記載のレーザシステム。
【請求項８】
前記第３のコントローラブロックは、前記焦点のＺ深度を第１のＺ走査速度で走査するように構成されており、
前記第４のコントローラブロックは、前記焦点のＺ深度を第２のＺ走査速度で走査するように構成されている、請求項５記載のレーザシステム。
【請求項９】
手術用レーザビームを調整する方法であって、
レーザビームを生成するステップと、
前記レーザビームをマルチ機能ビーム調整器によって受け取るステップと、
前記マルチ機能ビーム調整器の第１のビームコントローラによって第１のビーム特徴を制御し、前記マルチ機能ビーム調整器の第２のビームコントローラによって第２のビーム特徴を制御するステップと、
ＸＹスキャナによって前記レーザビームをＸＹ横断方向に走査するステップと
を含み
前記第１のビーム特徴が前記ＸＹ走査の前に制御され、前記第２のビーム特徴が前記ＸＹ走査の後に制御される、方法。
【請求項１０】
前記第１のビームコントローラは、前記ＸＹスキャナの前段に配設された第１のコントローラブロック及び第２のコントローラブロックを備えるマルチブロックコントローラである、請求項９記載の方法。
【請求項１１】
前記第２のビームコントローラは、前記ＸＹスキャナの後段に配設された第３のコントローラブロック及び第４のコントローラブロックを備えるマルチブロックコントローラである、請求項９記載の方法。
【請求項１２】
前記第１のマルチブロックコントローラは、開口数コントローラであり、前記第２のマルチブロックコントローラは、Ｚスキャナである、請求項１１記載の方法。